

PRINTING ORDER ACCEPTANCE AND PLACING SYSTEM

Patent Number: JP2000155666
Publication date: 2000-06-06
Inventor(s): HONDA JUNKO;; TOSHIMA SHIZUKA;; FUKUMURO IKU;; TANAKA YOSHIKO
Applicant(s): KONICA CORP
Requested Patent: ☐ JP2000155666
Application Number: JP19980344889 19981118
Priority Number(s):
IPC Classification: G06F3/12; B41J29/38; H04N1/00; H04N1/46
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a printing order accepting placing system by which a complicated proof sheet is unnecessitated, image data is easily transmitted from an ordering side, information on a printer and cost or the like is accurately imparted to the ordering side and color correction is made possible.

SOLUTION: In this system for accepting/placing orders for the printing of color image data by using terminals 1 and 2 connected to a network, color image data to be printed is transmitted from the terminals 1 and 2 of ordering side which have an image editing function to the terminal 4 of order accepting side, the color image data is received by the terminal of the order accepting side, the proof sheet data generated by the order accepting side is transmitted to the terminals 1 and 2 of the ordering side, and the proof sheet data is confirmed and altered between both the terminals 1 and 2 and 4.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-155666

(P2000-155666A)

(43) 公開日 平成12年6月6日(2000.6.6)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	マークシート(参考)
G 0 6 F 3/12		G 0 6 F 3/12	W 2 C 0 6 1
B 4 1 J 29/38		B 4 1 J 29/38	Z 5 B 0 2 1
H 0 4 N 1/00		H 0 4 N 1/00	C 5 B 0 9 1
1/46		1/46	Z 5 C 0 6 2
// G 0 6 F 17/28		G 0 6 F 15/38	Z 5 C 0 7 9
審査請求 未請求 請求項の数48 F D (全 18 頁)			

(21) 出願番号 特願平10-344889

(22) 出願日 平成10年11月18日(1998.11.18)

(71) 出願人 000001270

コニカ株式会社

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

(72) 発明者 本田 淳子

東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内

(72) 発明者 戸嶋 静香

東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内

(72) 発明者 福室 郁

東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内

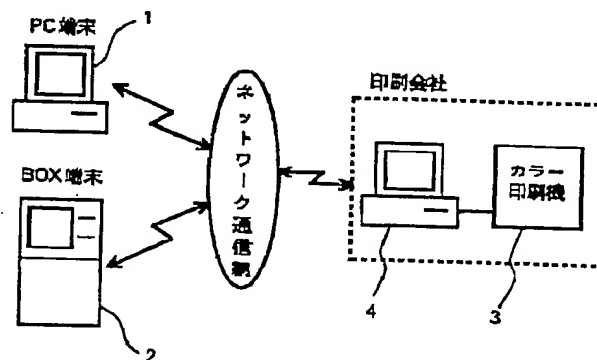
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 印刷受注発注システム

(57) 【要約】

【課題】印刷の受注と発注に際し、校正刷りの煩雑さを解消し、発注者側からの画像データの送信を容易にし、印刷業者やコスト等の情報を的確に発注者に提供でき、色校正を可能とする印刷受注発注システムを提供すること。

【解決手段】カラー画像データの印刷をネットワークに接続された端末機1、2を用いて受注及び発注するシステムであって、画像編集機能を有する発注者側の端末機1、2から受注者の端末機4に印刷を希望するカラー画像データを送信し、該カラー画像データを受注者の端末機で受信し、次いで受注者側で作成された校正画像データを発注者の端末機1、2に送信し、該校正画像データの確認及び変更を受注者と発注者の双方の端末機1、2、4の間で行うことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 カラー画像データの印刷をネットワークに接続された端末機を用いて受注及び発注するシステムであって、画像編集機能を有する発注者側の端末機から受注者の端末機に印刷を希望するカラー画像データを送信し、該カラー画像データを受注者の端末機で受信し、次いで受注者側で作成された校正画像データを発注者の端末機に送信し、該校正画像データの確認及び変更を受注者と発注者の双方の端末機の間で行うことを特徴とする印刷受注発注システム。】

【請求項2】 発注者の端末機が、パーソナルコンピュータ又は店頭等に設置されるBOXタイプの画像編集装置であることを特徴とする請求項1記載の印刷受注発注システム。

【請求項3】 画像編集機能を有する発注者側の端末機が、複数の文字デザイン編集プログラムを有することを特徴とする請求項1又は2記載の印刷受注発注システム。

【請求項4】 画像編集機能を有する発注者側の端末機が、複数の画像デザイン編集プログラムを有することを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項5】 複数の文字デザイン編集プログラム及び／又は複数の画像デザイン編集プログラムが、テーマ毎の印刷サンプル画像をモニタ上に表示する機能、印刷希望画像をモニタ上で自ら作成できる機能、前記サンプルに自作の画像を結合させて印刷希望画像をモニタ上で作成する機能を有することを特徴とする請求項3又は4記載の印刷受注発注システム

【請求項6】 画像編集機能を有する発注者側の端末機が、翻訳機能を有することを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項7】 画像編集機能を有する発注者側の端末機が、音声発信及び音声取り込み機能、音声解析機能を有することを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項8】 画像編集機能を有する発注者側の端末機が、動画表現機能を有することを特徴とする請求項1～7のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項9】 画像編集機能を有する発注者側の端末機が、モニタ画面上に指或いはペン等により直接触れることによって命令を指定することのできるモニタ及びアプリケーションソフトが搭載されていることを特徴とする請求項1～8のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項10】 受注者側の端末機が、デジタル画像印刷機からの画像データの取り込みが可能な構成を有することを特徴とする請求項1～9のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項11】 デジタル画像印刷機からの画像データの

端末機への取り込みが、プログラムソフト、又はイメージスキャナ読み込みによることを特徴とする請求項10記載の印刷受注発注システム。

【請求項12】 発注者に戻される校正画像データが、発注者の端末機に連動するモニターに表示されることを特徴とする請求項1～10のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項13】 発注者に戻される校正画像データが、印刷実施する印刷機の機種又は印刷方式に適応した色変換がなされていることを特徴とする請求項1～12のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項14】 発注者に戻される校正画像データが、印刷実施の際の解像度に適応したものであることを特徴とする請求項1～12のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項15】 発注者に戻される校正画像データが、印刷実施の際に使用される紙の種類に適応した色変換がなされているものであることを特徴とする請求項1～12のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項16】 発注者に戻される校正画像データが、校正機或いはそれに準ずる印刷機から出力された校正刷りを電子データ化したものであることを特徴とする請求項1～15のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項17】 発注者に戻される校正画像データが、校正機或いはそれに準ずる印刷機に出力するときに使用するデータであることを特徴とする請求項1～16のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項18】 校正画像をモニタ上で確認する際に、色変換前後の画像をモニタの一面画面上で比較できる手段を有することを特徴とする請求項1～17のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項19】 ネットワークに接続可能な端末機を用いてインターネット上にて印刷の発注及び受注を行うシステムにおいて、発注者と受注者との間に画像編集機能を有する集中ステーションを介在させ、該集中ステーションにおいて印刷の発注から受注に至る管理を実行することを特徴とする印刷受注発注システム。

【請求項20】 発注者の端末機が、パーソナルコンピュータ又は店頭等に設置されるBOXタイプの画像編集装置であることを特徴とする請求項19記載の印刷受注発注システム。

【請求項21】 発注者の端末機が、集中ステーションに接続可能なインターネット用プログラムがインストールされていることを特徴とする請求項19又は20記載の印刷受注発注システム。

【請求項22】 集中ステーションが、複数の文字デザイン編集プログラムを有することを特徴とする請求項19～21のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項23】 集中ステーションが、複数の画像デザイン編集プログラムを有することを特徴とする請求項19

～22のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項24】複数の文字デザイン編集プログラム及び／又は複数の画像デザイン編集プログラムが、テーマ毎の印刷サンプル画像を発注者側の端末機のモニタ上に表示する機能、印刷希望画像を発注者側の端末機のモニタ上で目で作成できる機能、前記サンプルに自作の画像を結合させて印刷希望画像を発注者側の端末機のモニタ上で作成する機能を有することを特徴とする請求項22又は24記載の印刷受注発注システム

【請求項25】集中ステーションが、翻訳機能を有することを特徴とする請求項19～24のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項26】集中ステーションが、音声発信及び音声取り込み機能、音声解析機能を有することを特徴とする請求項19～25のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項27】集中ステーションが、動画表現機能を有することを特徴とする請求項19～26のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項28】集中ステーションが、モニタ画面上に指或いはペン等により直接触れることによって命令を指定することのできるモニタ及びアプリケーションソフトが搭載されていることを特徴とする請求項19～27のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項29】集中ステーションが色校正機能を有することを特徴とする請求項19～28のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項30】色校正機能が、印刷を実施する印刷機に接続されたモニタ上で表示された色と、発注者元にあるモニタ上で表示された色が実質的に同じとなるように、印刷前の校正画像データの色変換を行う手段を有することを特徴とする請求項29記載の印刷受注発注システム。

【請求項31】色校正機能が、色変換前後での色相の違いを表現するひとつの手段として、数値化した色相差を、人間が視覚的に受ける印象を言語化したある規定に基づいた表現方法と対応させて表現できる、色相差言語化変換する手段を有することを特徴とする請求項29記載の印刷受注発注システム。

【請求項32】色校正機能が、色変換前後での差異を矢印表示する手段を有することを特徴とする請求項29記載の印刷受注発注システム。

【請求項33】色校正機能が、色変換前後の画像を重ね、前後の差異がない部分のある特定の一色で表示する手段を有することを特徴とする請求項29記載の印刷受注発注システム。

【請求項34】集中ステーションが入稿管理機能を持つことを特徴とする請求項19記載の印刷受注発注システム。

【請求項35】入稿管理機能が、入稿されたデータにナ

ンバリリングする手段を有することを特徴とする請求項34記載の印刷受注発注システム。

【請求項36】入稿管理機能が、ナンバリリングされた顧客データのある一定期間自動保存する自動保存機能を有することを特徴とする請求項34記載の印刷受注発注システム。

【請求項37】入稿管理機能が、自動保存された画像データを、登録されたナンバー管理によって、部分的なデータ置き換えが可能なデータ置き換え機能を有することを特徴とする請求項36記載の印刷受注発注システム。

【請求項38】入稿管理機能が、ナンバリリングされた顧客データを、受注から配送までをトータル管理する管理機能を有し、発信者が現在どこまで進んでいるかを検索できる検索機能を有することを特徴とする請求項35～37のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項39】集中ステーションが印刷管理機能を持つことを特徴とする請求項19記載の印刷受注発注システム。

【請求項40】印刷管理機能が、印刷を完了させる納期の情報を表示する手段を有することを特徴とする請求項39記載の印刷受注発注システム。

【請求項41】印刷管理機能が、編集されたデータを印刷装置に送る前に、同一データを用いて、印刷条件違い（印刷機、紙、インクなど）でのコスト試算ができるコスト試算機能を有することを特徴とする請求項39又は40記載の印刷受注発注システム。

【請求項42】印刷管理機能が、受注した顧客データ（納品住所）に最も適切な印刷機を選択する、住所管理機能及びリモート機能を有することを特徴とする請求項39～41のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項43】受注管理機能が、受注者の依頼内容によって、受注者が指示した印刷機以外で受注者が印刷するのに適切だと思われる印刷機、印刷方法のアドバイスの表示を行う手段を有することを特徴とする請求項39～42のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項44】集中ステーションが受注管理機能を持つことを特徴とする請求項19記載の印刷受注発注システム。

【請求項45】受注管理機能が、受注に関する発信側との双方向での表現方法のひとつとして、音声表現機能を有することを特徴とする請求項44記載の印刷受注発注システム。

【請求項46】集中ステーションが、色校正機能、印刷管理機能、受注管理機能、入稿管理機能を持つことを特徴とする請求項19記載の印刷受注発注システム。

【請求項47】集中ステーションが、自動保存された画像データを、登録されたナンバー管理によって、定期的に登録されたデータの一部を、自動更新するデータ自動更新機能を有することを特徴とする請求項19～46のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【請求項48】集中ステーションが、デジタル画像印刷機或いは、印刷機に接続されたコンピュータに、それらが共有することのできるプログラムソフトを持つことを特徴とする請求項19～47のいずれかに記載の印刷受注発注システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットを利用し、発注元の端末機と受注元の端末機間で印刷の受注から発注に至る全ての管理が可能な印刷受注発注システムに関する。

【0002】

【従来の技術】印刷物の受注と発注は、印刷会社に印刷原稿を持ち込んで、その校正刷りを発注者が確認し、問題なければ印刷するという方法が、一般的である。

【0003】近年、印刷の発注者側のニーズが多様化し、また企業だけでなく、個人の発注も多くなってきているなかで、パソコンの普及に伴い、デジタル画像データの印刷需要も多くなってきている。

【0004】また、個人の発注者が自らの端末機を用いて作成した画像データを印刷業者に持ち込んで印刷を依頼したいという要請も出てきている。画像データをフィルム出しにして持ち込まれば、従来と変わらず印刷物を作成できるので問題ないが、画像データを印刷業者に電送してきて、あるいはフロッピーディスク（以下、FDという）等の記録媒体に書き込んで持ち込まれると、それほど容易ではない。

【0005】印刷業者は、画像データをもとに、印刷物を作成し、それを個人の発注者に郵送すると、必ずといっていいほどレイアウト、文字、色相等で不満が来る。その不満を解消するために、印刷業者は校正刷りを行うが、画像データが複雑になればなるほど何度も何度も校正刷りを繰り返すことになる。

【0006】また発注者側においても、印刷工程までを想定した画像データの作成は容易でなく、ましてそれを印刷業者に電送するのも容易でない。例えば画像を電送しようと思っても、印刷業者の方で、それを受け取る手段がなければ電送できないし、またFDで送ろうとしても、画像データ自体はデータ容量が非常に多く、1枚のFDでは収納できず複数枚のFDに収納することになり、それだけコストと時間がかかり、それを読み取る印刷業者の方でも相当な時間がかかる。圧縮して収納する手法もあるが収納技術が必要となり、通常の人々が簡単にできることではない。MO等の使用も考えられるが、普通のパソコンではそのドライブがついていないのが実状である。

【0007】また折角苦労して、画像データを入手した印刷業者は、相変わらず校正刷りを発注者に郵送又は手渡ししているのが実状であり、校正刷りの繰り返しの問題が何ら解消していない。

【0008】更に印刷業者には得意不得意があり、ユーザの印刷対象の多様化の中では、印刷対象によってどの印刷業者が適当か、しかもコストがユーザの希望に合致するか等の情報を迅速にユーザに提供することが望まれる。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】そこで、本発明は、印刷の受注と発注に際し、校正刷りの煩雑さを解消し、発注者側からの画像データの送信を容易にし、印刷業者やコスト等の情報を的確に発注者に提供でき、色校正を可能とする印刷受注発注システムを提供することにある。

【0010】また本発明は、発注者が印刷会社（もしくは、受け入れステーション）との双方向の情報確認、受注と同時期の出力仕上がり確認、納期確認がとれ、仲介業者が入らないことにより、短納期、低コスト、データの紛失軽減等の大きなメリットを得ることができ、また印刷する側でも、予め顧客とのコンセンサスがとれているので、問題なく印刷物を刷ることができる印刷受注発注システムを提供することにある。

【0011】更に、本発明の他の課題は以下の記載によって明らかにされる。

【0012】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、カラー画像データの印刷をネットワークに接続された端末機を用いて受注及び発注するシステムであって、画像編集機能を有する発注者側の端末機から受注者の端末機に印刷を希望するカラー画像データを送信し、該カラー画像データを受注者の端末機で受信し、次いで受注者側で作成された校正画像データを発注者の端末機に送信し、該校正画像データの確認及び変更を受注者と発注者の双方の端末機の間で行うことを特徴とする印刷受注発注システムである。

【0013】請求項2記載の発明は、発注者の端末機が、パーソナルコンピュータ又は店頭等に設置されるBOXタイプの画像編集装置であることを特徴とする請求項1記載の印刷受注発注システムである。

【0014】請求項3記載の発明は、画像編集機能を有する発注者側の端末機が、複数の文字デザイン編集プログラムを有することを特徴とする請求項1又は2記載の印刷受注発注システムである。

【0015】請求項4記載の発明は、画像編集機能を有する発注者側の端末機が、複数の画像デザイン編集プログラムを有することを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0016】請求項5記載の発明は、複数の文字デザイン編集プログラム及び／又は複数の画像デザイン編集プログラムが、テーマ毎の印刷サンプル画像をモニタ上に表示する機能、印刷希望画像をモニタ上で自ら作成できる機能、前記サンプルに自作の画像を結合させて印刷希望画像をモニタ上で作成する機能を有することを特徴と

する請求項3又は4記載の印刷受注発注システムである。

【0017】請求項6記載の発明は、画像編集機能を有する発注者側の端末機が、翻訳機能を有することを特徴とする請求項1～5のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0018】請求項7記載の発明は、画像編集機能を有する発注者側の端末機が、音声発信及び音声取り込み機能、音声解析機能を有することを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0019】請求項8記載の発明は、画像編集機能を有する発注者側の端末機が、動画表現機能を有することを特徴とする請求項1～7のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0020】請求項9記載の発明は、画像編集機能を有する発注者側の端末機が、モニタ画面上に指或いはペン等により直接触れることによって命令を指定することのできるモニタ及びアプリケーションソフトが搭載されていることを特徴とする請求項1～8のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0021】請求項10記載の発明は、受注者側の端末機が、デジタル画像印刷機からの画像データの取り込みが可能な構成を有することを特徴とする請求項1～9のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0022】請求項11記載の発明は、デジタル画像印刷機からの画像データの端末機への取り込みが、プログラムソフト、又はイメージスキャナ読み込みによることを特徴とする請求項10記載の印刷受注発注システムである。

【0023】請求項12記載の発明は、発注者に戻される校正画像データが、発注者の端末機に連動するモニターに表示されることを特徴とする請求項1～10のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0024】請求項13記載の発明は、発注者に戻される校正画像データが、印刷実施する印刷機の機種又は印刷方式に適応した色変換がなされていることを特徴とする請求項1～12のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0025】請求項14記載の発明は、発注者に戻される校正画像データが、印刷実施の際の解像度に適応したものであることを特徴とする請求項1～12のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0026】請求項15記載の発明は、発注者に戻される校正画像データが、印刷実施の際に使用される紙の種類に適応した色変換がなされているものであることを特徴とする請求項1～12のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0027】請求項16記載の発明は、発注者に戻される校正画像データが、校正機或いはそれに準ずる印刷機から出力された校正刷りを電子データ化したものである

ことを特徴とする請求項1～15のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0028】請求項17記載の発明は、発注者に戻される校正画像データが、校正機或いはそれに準ずる印刷機に出力するときに使用するデータであることを特徴とする請求項1～16のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0029】請求項18記載の発明は、校正画像をモニタ上で確認する際に、色変換前後の画像をモニタの一面面上で比較できる手段を有することを特徴とする請求項1～17のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0030】請求項19記載の発明は、ネットワークに接続可能な端末機を用いてインターネット上にて印刷の発注及び受注を行うシステムにおいて、発注者と受注者との間に画像編集機能を有する集中ステーションを介在させ、該集中ステーションにおいて印刷の発注から受注に至る管理を実行することを特徴とする印刷受注発注システムである。

【0031】請求項20記載の発明は、発注者の端末機が、パーソナルコンピュータ又は店頭等に設置されるBOXタイプの画像編集装置であることを特徴とする請求項19記載の印刷受注発注システムである。

【0032】請求項21記載の発明は、発注者の端末機が、集中ステーションに接続可能なインターネット用プログラムがインストールされていることを特徴とする請求項19又は20記載の印刷受注発注システムである。

【0033】請求項22記載の発明は、集中ステーションが、複数の文字デザイン編集プログラムを有することを特徴とする請求項19～21のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0034】請求項23記載の発明は、集中ステーションが、複数の画像デザイン編集プログラムを有することを特徴とする請求項19～22のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0035】請求項24記載の発明は、複数の文字デザイン編集プログラム及び／又は複数の画像デザイン編集プログラムが、テーマ毎の印刷サンプル画像を発注者側の端末機のモニタ上に表示する機能、印刷希望画像を発注者側の端末機のモニタ上で自ら作成できる機能、前記サンプルに自作の画像を結合させて印刷希望画像を発注者側の端末機のモニタ上で作成する機能を有することを特徴とする請求項22又は24記載の印刷受注発注システムである。

【0036】請求項25記載の発明は、集中ステーションが、翻訳機能を有することを特徴とする請求項19～24のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0037】請求項26記載の発明は、集中ステーションが、音声発信及び音声取り込み機能、音声解析機能を有することを特徴とする請求項19～25のいずれかに

記載の印刷受注発注システムである。

【0038】請求項27記載の発明は、集中ステーションが、動画表現機能を有することを特徴とする請求項19～26のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0039】請求項28記載の発明は、集中ステーションが、モニタ画面上に指或いはペン等により直接触れることによって命令を指定することのできるモニタ及びアプリケーションソフトが搭載されていることを特徴とする請求項19～27のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0040】請求項29記載の発明は、集中ステーションが色校正機能を有することを特徴とする請求項19～28のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0041】請求項30記載の発明は、色校正機能が、印刷を実施する印刷機に接続されたモニタ上で表示された色と、発注者元にあるモニタ上で表示された色が実質的に同じとなるように、印刷前の校正画像データの色変換を行う手段を有することを特徴とする請求項29記載の印刷受注発注システムである。

【0042】請求項31記載の発明は、色校正機能が、色変換前後での色相の違いを表現するひとつの手段として、数値化した色相差を、人間が視覚的に受ける印象を言語化したある規定に基づいた表現方法と対応させて表現できる、色相差言語化変換する手段を有することを特徴とする請求項29記載の印刷受注発注システムである。

【0043】請求項32記載の発明は、色校正機能が、色変換前後での差異を矢印表示する手段を有することを特徴とする請求項29記載の印刷受注発注システムである。

【0044】請求項33記載の発明は、色校正機能が、色変換前後の画像を重ね、前後の差異がない部分のある特定の色で表示する手段を有することを特徴とする請求項29記載の印刷受注発注システムである。

【0045】請求項34記載の発明は、集中ステーションが入稿管理機能を持つことを特徴とする請求項19記載の印刷受注発注システムである。

【0046】請求項35記載の発明は、入稿管理機能が、入稿されたデータにナンバリングする手段を有することを特徴とする請求項34記載の印刷受注発注システムである。

【0047】請求項36記載の発明は、入稿管理機能が、ナンバリングされた顧客データをある一定期間自動保存する自動保存機能を有することを特徴とする請求項34記載の印刷受注発注システムである。

【0048】請求項37記載の発明は、入稿管理機能が、自動保存された画像データを、登録されたナンバー管理によって、部分的なデータ置き換えが可能なデータ置き換え機能を有することを特徴とする請求項36記載

の印刷受注発注システムである。

【0049】請求項38記載の発明は、入稿管理機能が、ナンバリングされた顧客データを、受注から配送までをトータル管理する管理機能を有し、発信者が現在どこまで進んでいるかを検索できる検索機能を有することを特徴とする請求項35～37のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0050】請求項39記載の発明は、集中ステーションが印刷管理機能を持つことを特徴とする請求項19記載の印刷受注発注システムである。

【0051】請求項40記載の発明は、印刷管理機能が、印刷を完了させる納期の情報を表示する手段を有することを特徴とする請求項39記載の印刷受注発注システムである。

【0052】請求項41記載の発明は、印刷管理機能が、編集されたデータを印刷装置に送る前に、同一データを用いて、印刷条件違い（印刷機、紙、インクなど）でのコスト試算ができるコスト試算機能を有することを特徴とする請求項39又は40記載の印刷受注発注システムである。

【0053】請求項42記載の発明は、印刷管理機能が、受注した顧客データ（納品住所）に最も適切な印刷機を選択する、住所管理機能及びリモート機能を有することを特徴とする請求項39～41のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0054】請求項43記載の発明は、受注管理機能が、受注者の依頼内容によって、受注者が指示した印刷機以外で受注者が印刷するのに適切だと思われる印刷機、印刷方法のアドバイスの表示を行う手段を有することを特徴とする請求項39～42のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0055】請求項44記載の発明は、集中ステーションが受注管理機能を持つことを特徴とする請求項19記載の印刷受注発注システムである。

【0056】請求項45記載の発明は、受注管理機能が、受注に関する発信側との双方向での表現方法のひとつとして、音声表現機能を有することを特徴とする請求項44記載の印刷受注発注システムである。

【0057】請求項46記載の発明は、集中ステーションが、色校正機能、印刷管理機能、受注管理機能、入稿管理機能を持つことを特徴とする請求項19記載の印刷受注発注システムである。

【0058】請求項47記載の発明は、集中ステーションが、自動保存された画像データを、登録されたナンバー管理によって、定期的に登録されたデータの一部を、自動更新するデータ自動更新機能を有することを特徴とする請求項19～46のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0059】請求項48記載の発明は、集中ステーションが、デジタル画像印刷機或いは、印刷機に接続された

コンピュータに、それらが共有することのできるプログラムソフトを持つことを特徴とする請求項19~47のいずれかに記載の印刷受注発注システムである。

【0060】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。

【0061】本発明の印刷受注発注システムは、(1)発注者の印刷画像データをインターネットを介して発注し、それを特定の印刷業者が受注し、校正画像データを返信して受発注を行う形態(図1)と、(2)インターネット上に集中ステーションシステムを設置しておき、例えばホームページ上に作成しておいて、それに基づいて複数の印刷業者との間で発注受注の管理を行う形態(図2)に分けられる。

【0062】前者の例では、発注者側の端末機に画像編集機能を有するプログラムをインストールしておき、画像編集を行う。インストール手段は、特定の販売業者から市販されるソフトを用いてもよいし、或いはインターネット上からダウンロードする方法でもよい。

【0063】この場合の画像編集機能を有する発注者側の端末機としては、図1に示すように、個人或いは法人等が所有するパーソナルコンピュータ1の他に、コンビニエンスストア等の店頭でインターネットに接続可能なBOXタイプの端末機2を設置しておき、利用者(発注者)が該BOXタイプの端末機2を操作することによって画像編集を行うようにしてもよい。

【0064】これら発注者側の端末機1、2はネットワーク通信網を介して特定の印刷会社のデジタル画像印刷機3に接続された受注者側の端末機4と接続され、発注者側の端末機1、2と受注者側の端末機4との間で双方向にカラー画像データの通信が可能に構成される。

【0065】一方、後者の例では、図2に示すように、ネットワーク通信網に接続された集中ステーションシステム7が画像編集機能を有するプログラムを持ち、発注者側の端末機からのアクセスによって該集中ステーションシステム7が画像編集を行う。この例では、前者の例と異なり、この集中ステーションシステム7と発注者側の端末機との間で双方向にカラー画像データの通信が可能に構成される。

【0066】この場合の発注者側の端末機も、個人或いは法人が所有するパーソナルコンピュータ5の他に、コンビニエンスストア等の店頭でインターネットに接続可能なBOXタイプの端末機6を設置しておき、利用者(発注者)が該BOXタイプの端末機6を操作することによって集中ステーションシステム7にアクセスし、画像編集を行うようにしてもよい。

【0067】上記集中ステーションシステム7は、それぞれ複数の印刷会社のデジタル画像印刷機8A、8B…に接続された受注者側の端末機9A、9B…と接続されており、該受注者側の端末機9A、9B…は、集中ステ

ーションシステム7から印刷画像データの送信を受けて該印刷画像データをデジタル画像印刷機8A、9A…によって出力するようになっている。

【0068】なお、本発明にいう編集とは、画像データの作成のみならず、画像データの校正をも含む。

【0069】以下、まず図1に示す実施の形態の一例について、そのモニタ画面上の表示に基づいて説明する。

【0070】画像編集機能を有する発注者側の端末機1、2には、複数の画像デザイン編集プログラム及び/又は複数の文字デザイン編集プログラムを有し、これらプログラムの実行により、画像及び/又は文字による印刷画像データを作成する。

【0071】図3は発注者側の端末機1、2により画像編集プログラムを起動した際の初期画面であり、まず「スタート」ボタン10を操作することにより、発注者がこれから印刷を希望する対象を特定するための印刷対象の特定画面に切り換わる(図4)。ここでは名刺を印刷希望する場合について説明する。

【0072】なお、発注者が命令を指定するためのボタン操作は、キーボードやマウス操作により実行するものに限らず、モニタ画面上に指或いはペンにより直接触れることで操作することも好ましく、発注者側の端末機1、2には、かかる操作を可能とするモニタ及びアプリケーションソフトが搭載されていることが好ましい。

【0073】複数の画像デザイン編集プログラム及び/又は複数の文字デザイン編集プログラムは、印刷テーマ毎の印刷サンプル画像を発注者側の端末機1、2のモニタ上に表示する機能(サンプル)、発注者が印刷を希望する印刷希望画像を発注者側の端末機1、2のモニタ上で自ら作成することのできる機能(自作)及び上記印刷サンプル画像に自作の画像を結合させて印刷希望画像を発注者側の端末機1、2のモニタ上で作成することのできる機能(結合)をそれぞれ有している。

【0074】図4に示す画面において「名刺」のボタン11が操作されると、図5に示すように、「サンプル」のボタン12、「自作」のボタン13、「結合」のボタン14が表示される。ここで例えば「サンプル」のボタン12を操作すると、図6に示すように名刺のレイアウトサンプル15が表示される。これら表示された名刺のレイアウトサンプル15から、発注者は好みのレイアウトサンプル15を直接或いは番号入力等によって選択指定し、該指定された好みのレイアウトサンプル15に基づいて印刷希望する名刺画像データの作成に入る(図7)。なお、レイアウトサンプル15において、16は名刺に形成する顔写真の画像データの貼付け部である。

【0075】図8は文字入力画面であり、名刺作成に必要な文字情報、例えば、会社名の項目17、職場名の項目18、氏名の項目19、住所の項目20、電話番号及びFAX番号の項目21、E-Mailアドレスの項目22等を入力する。更に引き続いて、それら入力された

文字情報の文字種の項目23並びに各項目17~22毎の文字サイズの項目24を指定する(図9)。これらの文字サイズは、例えば会社名や氏名等の各項目17~22毎に名刺の文字情報として最適なサイズが自動的に設定されるようにしてもよい。

【0076】なお、発注者側の端末機1、2には、これら入力された文字データを、例えば日本語から英語に自動的に翻訳する機能を有することもできる。これにより、例えば上記入力した日本語による文字情報データが自動的に英語に翻訳されて、名刺の裏面に該英語の文字情報として印刷されるようにすることができるので好ましい。

【0077】また、かかる文字情報の入力に際しては、発注者側の端末機1、2のキーボードを使用して入力するものに限らず、発注者の音声解析し、該音声によって文字情報を入力することができる音声取り込み機能を有していることも好ましい。

【0078】以上の作業によって名刺作成の際に必要な文字情報の入力完了し、文字情報のみが入力された名刺画像25が作成される(図10)。

【0079】図11は、名刺の表面に形成されるカラーの顔写真を作成するために、顔写真のカラー画像データを取り込む際の画像ファイルの選択画面である。

【0080】顔写真のカラー画像データは、発注者が所有する顔写真が取り込まれた画像データファイルからの入力により行われる。ここでは例えばGIF、TIF、J. PEG等、画像データのファイル形式を選択することにより読み込みを行う。

【0081】読み込まれたカラー画像データ26が複数存在する場合、図12に示すように、そのうちのいずれかを指定して選択する。画像データの選択指定は、希望の画像の表示部位を直接選択指定するようにしてもよいし、図示するように希望の画像番号を入力することにより選択指定するようにしてもよい。選択された顔写真のカラー画像データは、文字情報入力完了した名刺画像データの顔写真の貼付け部16(図7)に貼付けられ、文字情報及び顔写真のカラー画像データ26が貼付けられた名刺画像27の作成が完了する(図13)。

【0082】ここですべての印刷画像データの作成作業が終了すると、再び図3に示す初期画面に戻る。ここで「送信」ボタン28の操作により、ネットワーク通信網

$$\begin{pmatrix} X_2 \\ Y_2 \\ Z_2 \end{pmatrix} = A \begin{pmatrix} X_1 \\ Y_1 \\ Z_1 \end{pmatrix}$$

A・・・色変換テーブル

X_1, Y_1, Z_1 ・・・入力されている画像データ

X_2, Y_2, Z_2 ・・・モニタ上で再現されている印刷機で出力される校正画像データ

【0089】この発注者側の端末機1、2のモニタ上に表示される校正画像データ29は、更に印刷実施の際の

を介して接続されている特定の印刷会社のデジタル画像印刷機3に接続している受注者側の端末機4に、図13に示す名刺画像データが上記ネットワーク通信網を介して送信される。

【0083】この受注者側の端末機4では、発注者側の端末機1、2から送信された上記名刺画像データに基づいてデジタル画像印刷機3によって印刷を実行するが、発注者が望む印刷結果と実際にデジタル画像印刷機3によって印刷される印刷結果との相違を是正するため、受注者は発注者側に名刺画像データの校正刷り見本を提示することにより、発注者の最終的な印刷確認を得なくてはならない。このため、受注者側の端末機4は、デジタル画像印刷機3からの画像データの取り込みを行うことができる構成を有し、該デジタル画像印刷機3による校正刷り見本を受注者側の端末機4によって発注者側の端末機1、2に校正画像データとして返信することができるようにしている。

【0084】この校正画像データは、名刺画像データの校正刷り見本を電子データ化したものであり、デジタル印刷機3において実際に出力する際に用いられるデータである。

【0085】このデジタル画像印刷機3からの画像データの端末機4への取り込みは、プログラムソフトによる形態の他、デジタル画像印刷機3から実際に出力した印刷見本をイメージスキャナによって読み込むことによっても行う形態でもよい。

【0086】このように受注者側の端末機4から発注者側の端末機1、2へ戻される名刺画像データの校正画像データ29は、発注者側の端末機1、2のモニタ上に表示される(図14)。このとき、発注者側の端末機1、2へ戻される校正画像データ29は、印刷が実施されるデジタル画像印刷機3の機種又は印刷方式に適合した色変換がなされる。これにより発注者は、実際に印刷機3から出力されるものと同じ色調の校正画像データ29を端末機1、2のモニタ上で確認することができるため、発注者と受注者の間のコンセンサスを容易にとることができる。

【0087】本発明における色変換としては、以下のよう表すことができる。

【0088】

【数1】

解像度に適合したものであることが好ましい。

【0090】発注者側の端末機1、2へ戻される校正画

像データ29は、該端末機1、2のモニタ上において上記色変換された校正画像データ29と発注者側の端末機1、2から送信されてきた色変換前の画像データ30とを一画面上で比較できるように表示する手段を有していることが好ましい(図15)。これにより発注者は実際に印刷される画像と自らが作成した画像との対比を同一モニタ画面上で行うことができる。特に、実際に印刷される画像と自らが作成した画像との色調の相違を対比確認することができるため、発注者側で校正が必要な箇所を容易に確認することができる。

【0091】この結果、校正が必要な場合には、発注者側の端末機1、2から発注者自ら校正画像データ29に対し、例えば顔写真の色調や文字情報データの訂正等を行い、再度受注者側の端末機4に送信し、発注者が希望する印刷画像データが作成されるまで同様の操作を繰り返す。

【0092】受注者側の端末機4との双方向の通信により発注者が希望する印刷画像データの作成が完了すると、受注者側に発注される。

【0093】図16は発注画面を表示しており、紙種の項目31、サイズの項目32、部数の項目33、希望納期の項目34等の印刷条件の設定入力を行い、受注者側の端末機4へ送信する。

【0094】なお、印刷実施の際に使用される紙の種類によって、印刷された画像の色調が発注者側の端末機1、2から送信された印刷画像データと異なる可能性がある場合には、発注者側の端末機1、2から名刺画像27を受注者側の端末機4へ送信する際に、紙種の項目31を含む上記印刷条件の設定入力を行い、名刺画像27と併せて印刷条件をも同時に受注者側の端末機4へ送信するようにするとよい。従って、この場合、受注者側の端末機4から戻される校正画像データ29は、印刷条件で設定された紙の種類に適応した色変換がなされるようにすることが好ましい。

【0095】発注の際、発注者の特定のために、発注者を特定するために必要な情報、例えば、住所、氏名、電話番号の入力や、顧客管理のために発行されるID番号、パスワード等を受注者側の端末機4へ同時に送信する。受注者である印刷会社は、発注依頼の内容に応じて、費用、納期等の情報を発注者側へ返信する。発注者は、この受注者側から返信される費用、納期等の情報を確認した後、了解すれば印刷開始の依頼を発信し、受注者側ではこの発注者からの印刷開始の依頼を受けて最終画像データに基づき、設定された印刷条件に従って名刺を印刷実行する。印刷された名刺は、受注者である印刷会社から発注者のもとへ郵送によって納品する。

【0096】なお、以上の説明は図5に示す画面において、「サンプル」のボタン12を操作した場合であるが、図5に示す画面において「自作」のボタン13を操作した場合、自作の名刺画像27を読み込み、図13以

降の作業を行う。また、図5に示す画面において「結合」のボタン14を操作した場合、すでに作成済みの画像データをサンプルと組み合わせたりすることにより名刺画像27を作成し、図13以降の作業を行う。

【0097】また、以上の説明は、図4に示す印刷対象の特定において、「名刺」を選択した場合であるが、その他、例えば各種案内状や年賀状、カレンダー、ポスター等の画像データを受注発注する場合でも、発注者側の端末機1、2と受注者側の端末機4との間で双方向に通信することにより全く同様に行うことができる。

【0098】なお、以上の説明において、発注者側の端末機1、2のモニタ画面上に表示される画像、例えば入力指示画像等は静止画像に限らず、動画として表現されるようにしてもよい。従来では、一般ユーザーが個人で印刷を発注する場合、例えば出力センターなどの専門職の人を介したとしても、知識差がありスムーズに進まない場合があったが、このように入力指示画像等を動画として表現されるようにすれば、初めて印刷を発注するユーザーが印刷に関係する専門知識等がない場合でも、画面に表示された動画案内に従ってスムーズに発注依頼を行うことができる。

【0099】次に、図2に示す実施の形態の一例について、そのモニタ画面上の表示に基づいて説明する。

【0100】この実施の形態において、発注者側の端末機5、6には、ネットワーク通信網を介して集中ステーションシステム7と接続可能なインターネット用プログラムがインストールされていることが好ましい。

【0101】図17は、発注者側の端末機5、6によってインターネットにより集中ステーションシステム7にアクセスし、印刷システムを起動させた場合の初期画面であり、印刷受付けの受注管理を行う「受注」のボタン35、発注者が印刷希望するカラー画像データの入稿管理を行う「入稿」のボタン36、印刷依頼を管理する「印刷」のボタン37、画像データの作成・編集を行う「編集」のボタン38をそれぞれ表示している。

【0102】まず、「受注」のボタン35を操作することで印刷の受付けがなされる。この発注者による印刷の受付けの際、発注者が初めて利用するのか、2回目以降の利用であるのかによって受付けが異なる。

【0103】なお、発注者が命令を指定するためのボタン操作は、キーボードやマウス操作により実行するものに限らず、モニタ画面上に指或いはペンにより直接触れることで操作することも好ましく、発注者側の端末機5、6には、かかる操作を可能とするモニタ及びアプリケーションソフトが搭載されていることが好ましい。

【0104】発注者が「初めて利用する」のボタン39を指定した場合、図19に示すように、発注者を特定するために必要な個人情報、例えば住所欄41、氏名欄42、電話番号欄43等の入力指示画面となり、発注者はそれぞれ指示された個人情報を入力する。また、料金の

支払いをクレジットを利用して行う場合には、クレジット会社名の入力欄44やクレジットカード番号の入力欄45等を設けるようにしてもよい。これらの個人情報の入力により集中ステーションシステム7は発注者個々のID番号を発行する(図20)。ここで発注者はパスワードの入力欄46に何らかのパスワードを入力することで、発注者と集中ステーションシステム7との間で同一性の確認を可能とする。

【0105】図18において、発注者が「2回目以降の利用」のボタン40を指定した場合、図21に示すように、ID番号及びパスワードの入力指示画面となり、発注者によってID番号入力欄47及びパスワード入力欄48にそれぞれID番号及びパスワードが入力されると、集中ステーションシステム7によって発注者の特定がなされる。

【0106】以上、印刷受付けにおいて集中ステーションシステム7によって発注者の特定が終了すると、発注者の個人情報は編集機能へ送られる。図22は、印刷受付けの受注管理機能における上記作業のフローである。

【0107】発注者の特定が終了すると、図17に示す初期画面に戻り、次いで「編集」のボタン38の操作により、画像データの作成・編集を行う。ここでは発注者が2回目以降の利用の場合であり、発注者の特定によって、発注者が過去に行った受注のリスト49が表示される。発注者は、リスト49を参照して新たな画像データを作成するか、全く新規に作成するかを選択することができる。ここでは「参照作成」のボタン50を操作することにより、名刺を参照作成する場合について説明する。

【0108】「参照作成」のボタン50を操作し、リスト49の中から「名刺」の番号を番号入力欄51に入力すると、図24に示すように、発注者が過去に作成した名刺画像52が表示される。

【0109】この名刺画像52を基にして変更する場合、「はい」のボタン53を操作すると、名刺画像52の変更対象のリスト54が表示される(図25)。変更希望のチェック欄54aにチェックすることで、変更希望箇所の指定が行われ、次いで編集を行う。ここでは顔写真の変更を行う場合について説明する。

【0110】顔写真のカラー画像データは、発注者が所有する顔写真が取り込まれた画像データファイルから取り込まれる(図26)。ここでは例えばGIF、TIFF、J、PEG等、画像データのファイル形式を選択することにより読み込み、集中ステーションシステム7への送信を行う。読み込まれたカラー画像データ55が複数存在する場合、図27に示すように、そのうちのいずれかを指定して選択する。画像データの選択指定は、希望の画像の表示部位を直接選択指定するようにしてもよいし、図示するように希望の画像番号を入力することにより選択指定するようにしてもよい。56は過去に作成

した名刺画像52(図24)中の顔写真のカラー画像であり、新たに取り込まれた画像データ55と同一画像上で対比することができるようにしている。

【0111】選択された顔写真のカラー画像データは、名刺画像52の顔写真の貼付け部に貼付けられ、新たな名刺画像57の作成が完了する(図28)。

【0112】なお、図23において新規作成する場合及び発注者が初めて利用する場合、図4～図13に示す作業と同一の作業を行う。但し、図11において、発注者が所有する顔写真が取り込まれた画像データファイルから読み込まれた顔写真のカラー画像データは集中ステーションシステム7へ送信される。

【0113】名刺画像57の編集が終了すると、図17に示す初期画面に戻り、次いで「入稿」のボタン36の操作により、名刺画像57のカラー画像データが入稿管理機能へ送られ、入稿管理を行う。

【0114】図29は入稿管理機能の作業フローを示す。まず、名刺画像57が編集機能から送られてくると(S1)、該名刺画像57の画像データのファイル形式を確認する(S2)。次いで、発注者が印刷を希望する印刷会社がある場合には、その指定された印刷会社の印刷機の確認を行う。この印刷会社の指定は、名刺画像57の作成終了時に、集中ステーションシステム7と接続している複数の印刷会社の中から、発注者が希望する印刷会社を指定することにより行ってもよいし、集中ステーションシステム7が印刷対象に応じて或いは発注者を特定するデータ(例えば住所)に基づいて自動的に最適な印刷会社を指定することにより行うようにしてもよい。

【0115】出力希望印刷機の確認が行われると、名刺画像57の画像データのファイル形式と印刷機が取り込み可能なファイル形式とが合致しているか否かの確認が行われる(S4)。合致していない場合は、名刺画像57の画像データのファイル形式を印刷機が取り込み可能なファイル形式に変換し(S5)、合致している場合はそのまま名刺画像57の画像データを印刷管理機能へ送る(S6)。印刷管理機能へ送られた後、名刺画像57のカラー画像データは保存される(S7)。

【0116】この入稿管理においては、入稿されたデータ、例えばカラー画像データ及び発注者個人のデータにナンバリングする手段を備えることが好ましい。入稿されたデータにナンバリングを行うことにより、以後の顧客データの管理が容易に行えるようになる。このようにナンバリングされた顧客データを、ある一定期間自動保存する自動保存機能を更に備えることも好ましい。

【0117】また、このように保存された顧客データは、登録されたナンバー管理によって部分的なデータ置き換えが可能なデータ置き換え機能を有しているとい

【0118】名刺画像57の入稿管理が終了すると、図

17に示す初期画面に戻り、次いで「印刷」のボタン37の操作により、名刺画像57のカラー画像データが印刷管理機能へ送られ、名刺画像57のカラー画像データの印刷依頼の管理を行う。

【0119】図31は印刷管理機能の作業フローを示す。入稿管理から名刺画像57のカラー画像データが送られてくると(S11)、利用可能な印刷会社を画面表示する(S12)。このとき印刷条件を設定しておくことが好ましい。印刷条件を設定しておくことにより、印刷機、紙、インク等の印刷条件の違いでのコスト試算が可能であり、これにより各印刷会社での見積り、納期が表示される(S13)。発注者はこれら見積り、納期を確認して希望の印刷会社を選択指定し(S14)、印刷会社が決定される(S15)。この発注者による印刷会社の指定に際しては、発注者が指定した印刷会社以外で印刷するのに適切だと思われる印刷機、印刷方法をアドバイス表示するようにしてもよい。

【0120】集中ステーションシステム7では、名刺画像57のカラー画像データ並びに印刷条件を発注者側の端末機5、6に戻す(S16)。名刺画像57及び印刷条件等が決定した状態の画面表示を図31に示す。ここで発注者が印刷を実行した場合の印刷状態を確認するために、印刷イメージの確認を行うことができるようにする。

【0121】発注者が印刷イメージの確認を行う場合(S17)、名刺画像57のカラー画像データは再度集中ステーションシステム7に送られる。発注者側の端末機が個人或いは法人所有のパーソナルコンピュータである場合、その端末機5のモニタに関する情報の入力指示画面が表示され(図32)、発注者のモニタの確認を行う(S18)。モニタのメーカー名を入力欄58、機種名を入力欄59等に所定事項が入力されると、集中ステーションシステム7では、名刺画像57のカラー画像データを、決定された印刷会社の印刷機8A、8B…の機種又は印刷方式並びに発注者側のモニタに適応した色に変換(色校正)して発注者側の端末機5、6に戻す(S20)。

【0122】発注者側の端末機5、6に戻された校正画像データは、図33に示すように、校正前の名刺画像57と校正画像60とが同一画面上で対比されるように表示する。これにより発注者は、実際に印刷機8A、8B…から出力されるものと同じ色調の校正画像60を端末機1、2のモニタ上において確認することができるため、発注者と受注者の間のコンセンサスを容易にとることができる。

【0123】なお、校正画像データは、発注者側の端末機5、6のモニタ上に表示される色と受注者である印刷会社の印刷機8A、8B…に接続された端末機9A、9B…のモニタ上に表示される色との間でも実質的に同じとなるように色変換されることが好ましい。これによれ

ば、受注者側で発注者との間で確認がなされた色のカラー画像をモニタ上で確認しながら印刷実行することができるので、印刷結果とモニタ上に表示される発注者との間で確認がなされたカラー画像との比較ができるため、より発注者の希望に合う印刷を実行することができる。

【0124】また、以上の説明では、校正画像60を単に校正前の名刺画像57と同一画面上で対比させた形態を示したが、集中ステーションシステム7に両画像57、60の色相差を数値化し、それを人間が視覚的に受ける印象として言語化したある規定に基づいた表現方法と対応させて表現する色相差言語化変換手段を備え、色変換前後での色相の差異を言語によって表現し得るようにしてもよい。

【0125】更に、集中ステーションシステム7に色変換前後での差異を矢印表示する手段を備え、色変換前後での色相の差異部分を矢印によって指示し得るようにすることも好ましい。

【0126】また、色変換前後の両画像57、60を同一画面上に対比させず、両画像57、60を重ね合わせるようにし、差異がない部分がある特定の色、例えば白色等で表示する手段を集中ステーションシステム7に備えるようにしてもよい。

【0127】校正画像60の確認の結果、発注者が更に校正を希望する場合は、発注者側の端末機5、6から発注者自ら校正画像60に対し、例えば顔写真の色調や文字情報データの訂正等を行い、再度集中ステーションシステム7に送信し、発注者が希望する印刷画像データが作成されるまで同様の操作を繰り返す。

【0128】集中ステーションシステム7との双方向の通信により発注者が希望する印刷画像データの作成が完了すると、該集中ステーションシステム7から特定された印刷会社の端末機9A、9B…へ最終的なカラー画像データが送信され(S21)、受注者側では、集中ステーションシステム7からの印刷画像データの発信を受けて、設定された印刷条件に従って名刺を印刷実行する。印刷された名刺は、受注者である印刷会社から発注者のもとへ郵送することによって納品される。

【0129】なお、以上の発明においても、発注者側の端末機5、6のモニタ画面上に表示される画像、例えば入力指示画像等は静止画像に限らず、動画として表現されるようにしてもよく、初めて印刷を発注するユーザーが印刷に関係する専門知識等がない場合でも、画面に表示された動画案内に従ってスムーズに発注依頼を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る印刷受注発注システムの構成の一例を示す概念図

【図2】本発明に係る印刷受注発注システムの構成の別の一例を示す概念図

【図3】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモ

ニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 4】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 5】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 6】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 7】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 8】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 9】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 10】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 11】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 12】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 13】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 14】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 15】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 16】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 17】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 18】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 19】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 20】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 21】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 22】本発明に係る印刷受注発注システムにおける受注管理機能の作業工程を示すフローチャート

【図 23】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 24】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 25】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 26】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 27】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 28】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 29】本発明に係る印刷受注発注システムにおける入稿管理機能の作業工程を示すフローチャート

【図 30】本発明に係る印刷受注発注システムにおける印刷管理機能の作業工程を示すフローチャート

【図 31】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

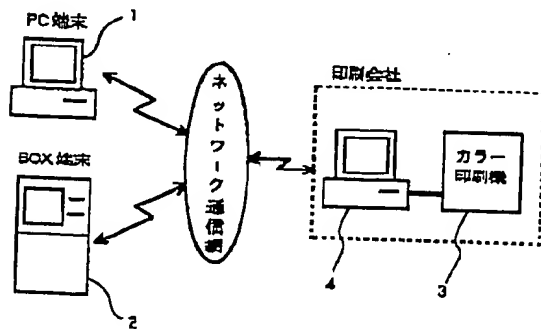
【図 32】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

【図 33】本発明に係る印刷受注発注システムにおけるモニタ画面表示の一例を示す平面図

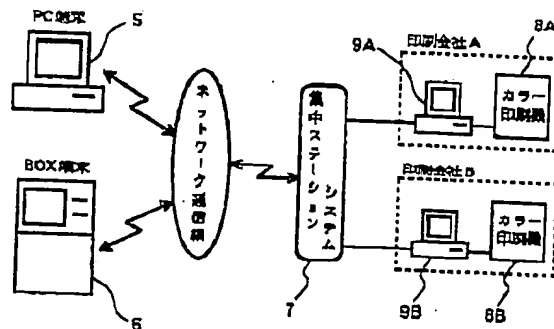
【符号の説明】

- 1、2、5、6 発注者側の端末機
- 3、8 A、8 B デジタル画像印刷機
- 4、9 A、9 B 受注者側の端末機
- 7 集中ステーションシステム
- 15 印刷サンプル画像
- 27 カラー画像データ（名刺画像）
- 29 校正画像データ

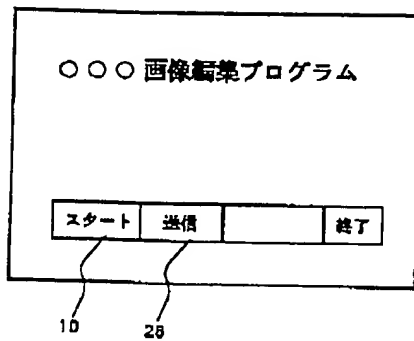
【図 1】



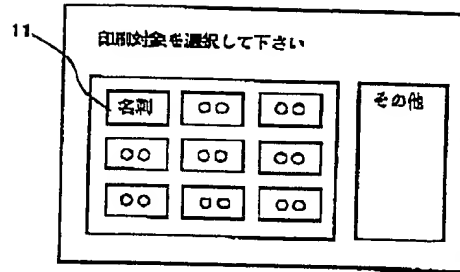
【図 2】



【図3】

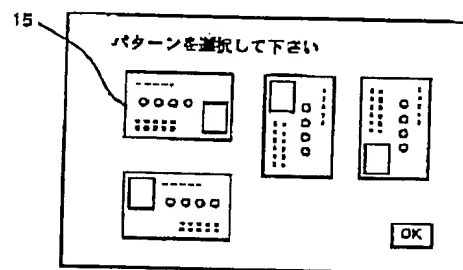
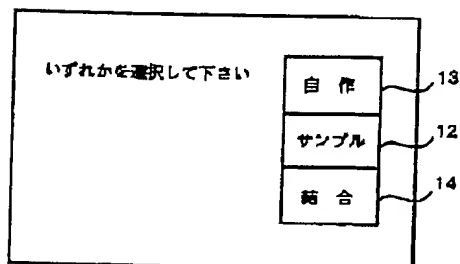


【図4】



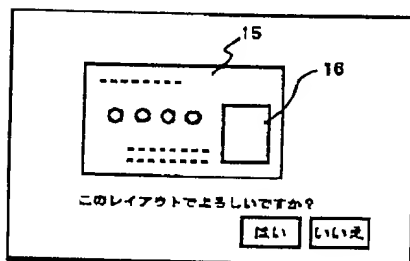
【図6】

【図5】

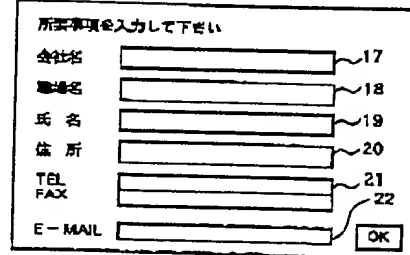


【図9】

【図7】

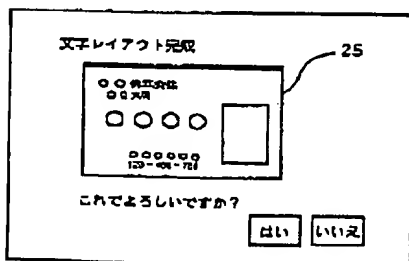


【図8】

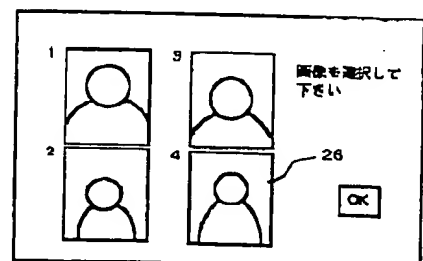
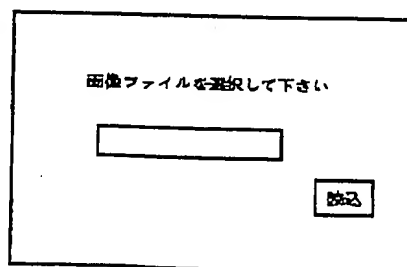


【図12】

【図10】



【図11】



【図13】

レイアウト完成

〇〇株式会社
〇〇支店
〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
123-456-789

26

27

これでよろしいですか?

はい いいえ

【図14】

校正画面表示

〇〇株式会社
〇〇支店
〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
123-456-789

29

これでよろしいですか?

はい いいえ

【図16】

印刷条件を設定して下さい

紙 種 31

サイズ 32

部 数 33

希望納期 34

OK

【図15】

30

校正前

〇〇株式会社
〇〇支店
〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
123-456-789

校正後

〇〇株式会社
〇〇支店
〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
123-456-789

29

これでよろしいですか?

はい いいえ

【図19】

所定事項を入力して下さい

住 所 41

氏 名 42

TEL 43

クレジット会社名 44

クレジットNO. 45

OK

【図17】

〇〇〇印刷システム

35 36 37 38

受注 入稿 印刷 編集

【図18】

あなたのご利用状況をお知らせ下さい

初めて利用する 39

2回目以降の利用 40

【図20】

あなたのID番号は

1234567 です

パスワードを入力して下さい

46

OK

【図21】

あなたのID番号とパスワードを入力して下さい

ID番号 47

パスワード 48

OK

【図23】

49

1. 名前 4. 〇〇

2. 〇〇 5. 〇〇

3. 〇〇 6. 〇〇

新規作成

参照作成 1

50 51

【図24】

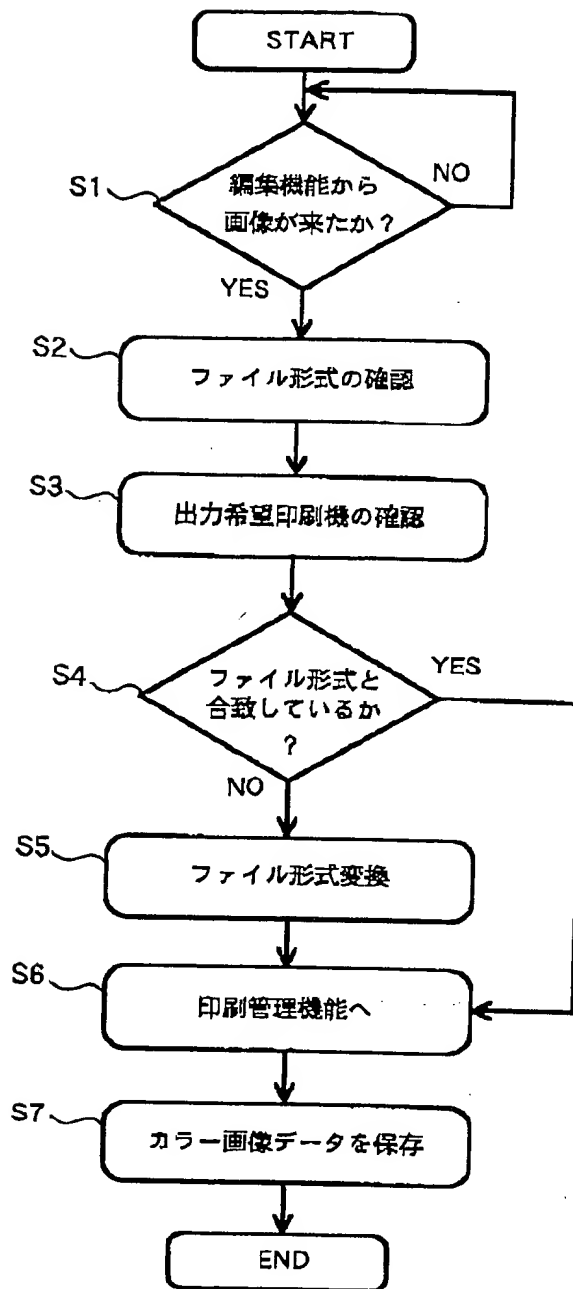
〇〇株式会社
〇〇支店
〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
123-456-789

52

変更しますか?

53 はい いいえ

【図 29】



【図 31】

57

条件

納期 ☐ 日
 値段 ☐ 円
 紙種 ☒ コート紙 ☐ 紙
 画像 ☐ dpi
 印刷機 ☐

印刷イメージを確認しますか?

【図 32】

あなたのモニターは?

メーカー名 68

機種名 59

【図 33】

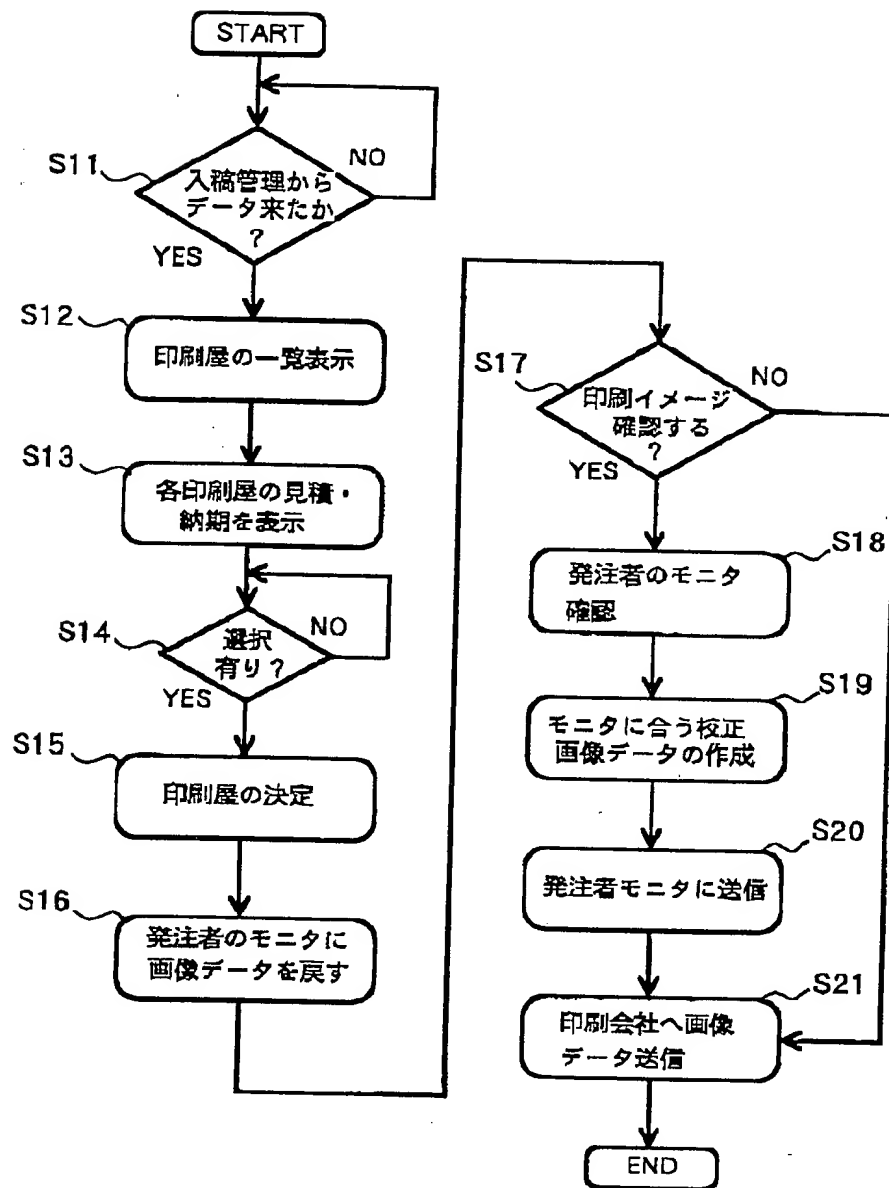
57

80

仕上がりイメージ

これでよろしいですか?

【図 30】



フロントページの続き

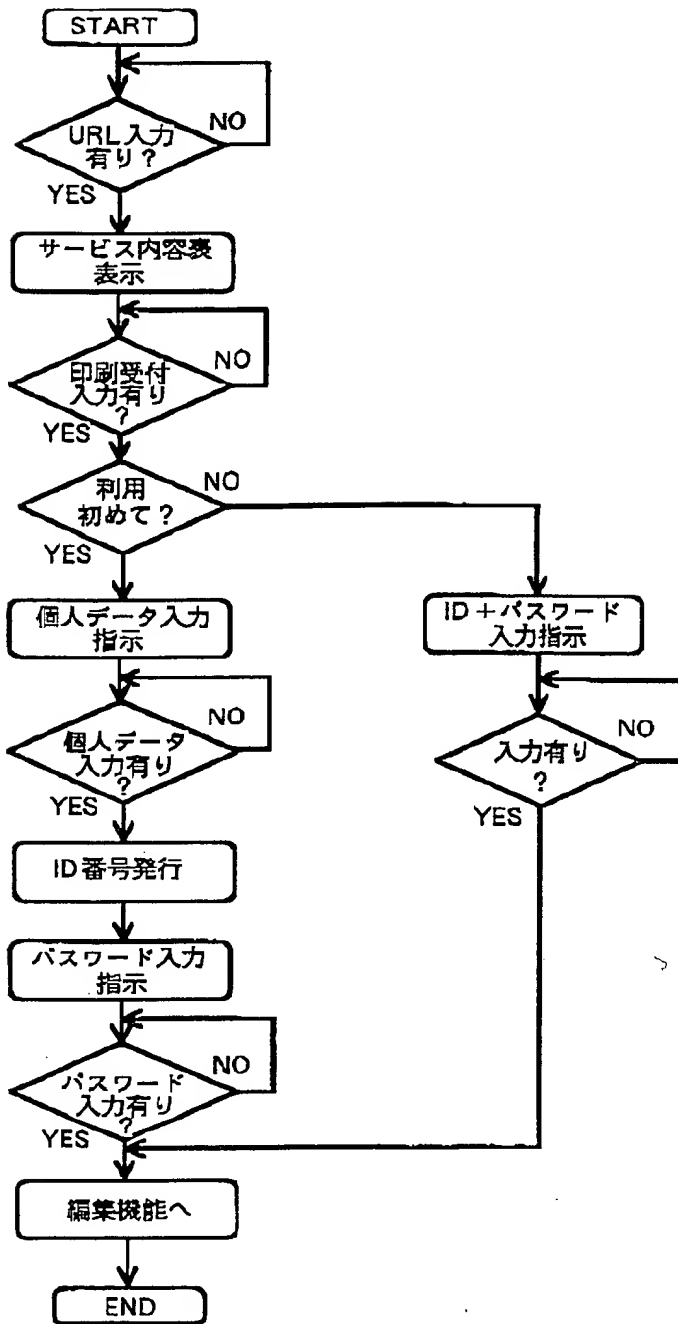
(72)発明者 田中 美子

埼玉県狭山市大字上広瀬591番地の7 コ

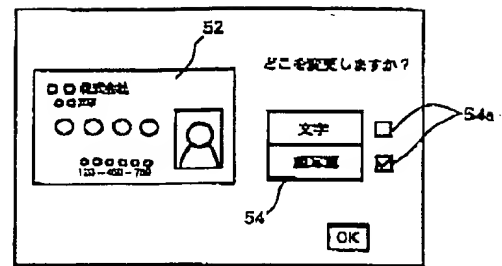
ニ力株式会社内

Fターム(参考) 2C061 AP01 AP10 AR01 AS02 HJ06
HL05
5B021 BB00 BB01 BB05 EE01 LE00
LG07 LL05
5B091 CD03 CD15
5C062 AA05 AA14 AA29 AB20 AB23
AB38 AC24 AC43 AE03 AE11
AE16 BA04 BD06
5C079 HA02 LA36 LA40 NA11 NA19
NA25

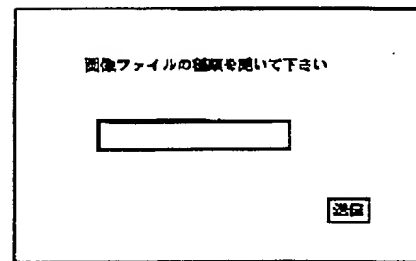
【図22】



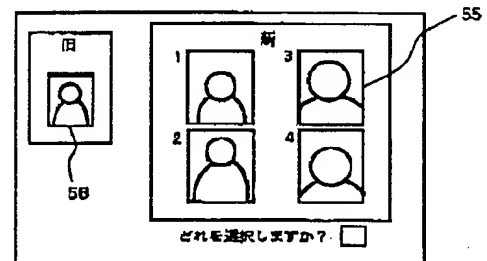
【図25】



【図26】



【図27】



【図28】

